

平成 28 年 11 月 28 日

投資者の皆様へ

T & D アセットマネジメント株式会社

## 「資源ツイン ファンド(通貨選択型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

足許の市場動向と「資源ツイン ファンド(通貨選択型)」の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 「資源ツイン ファンド(通貨選択型)」の基準価額

コース名	平成 28 年 11 月 25 日 基準価額(円)	平成 28 年 11 月 28 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
ブラジルリアルコース	2,314	2,177	137	5.92
トルコリラコース	2,133	2,077	126	5.91

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

#### 市況情報

	平成 28 年 11 月 22 日	平成 28 年 11 月 25 日	騰落率 (%)
原油先物価格	48.03	46.06	4.10
金先物価格	1,214.10	1,181.00	2.73

(小数点第 3 位四捨五入)

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、11 月 22 日と 11 月 25 日と比較しています。

原油先物は WTI 原油先物、金先物は COMEX 金先物の価格を使用しています。

原油先物価格の単位は米ドル/バレル、金先物価格の単位は米ドル/トロイオンスです。

	平成 28 年 11 月 22 日	平成 28 年 11 月 25 日	騰落率 (%)
ブラジルレアル(対米ドルレート)	0.2979	0.2926	1.80
トルコリラ(対米ドルレート)	0.2950	0.2902	1.63
米ドル(対円レート)	111.31	113.00	1.52

(ブラジルレアルおよびトルコリラは小数点第 5 位四捨五入、米ドルおよび騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後 4 時のレートです。

ブラジルレアル(対米ドルレート)の単位はブラジルレアル、トルコリラ(対米ドルレート)の単位はトルコリラ、

米ドル(対円レート)の単位は円です。

各レートについては基準価額への反映を考慮し、11 月 22 日と 11 月 25 日と比較しています。

出所:ブルームバーグ

### < 足許の状況 >

11 月 22 日から 25 日の原油先物価格は、11 月 30 日に石油輸出国機構(OPEC)総会開催を控えて、総会前に開かれる OPEC と OPEC の非加盟国が原油の生産調整について話し合う会合にサウジアラビアやロシアが参加しない見込みであると報じられ、総会で生産調整に関する暫定合意の正式決定が見送られる可能性が高まったため、下落しました。

同期間の金先物価格は、米国株式や米ドルが上昇基調で推移したため、安全資産としての魅力が低下し、下落しました。

同期間のブラジルレアル(対米ドルレート)は、テメル大統領に対する新たな汚職疑惑が報じられ、ブラジルの政治リスクに対する懸念が高まり、下落しました。

同期間のトルコリラ(対米ドルレート)は、24 日のトルコの中央銀行による利上げがサプライズであると受け取られ、利上げ直後に一旦上昇しましたが、銀行の加重平均貸出金利がすでに 7.9%まで上昇しており、引き締め効果に乏しいとの見方から下落に転じました。

このような市場動向により、ファンドの基準価額は前営業日比で 5%を超えて下落しました。

### < 今後の見通し >

原油先物市場は、11 月 30 日の OPEC 総会の開催を控えて、産油国間の協調減産の行方を睨みながら、不安定な相場展開が見込まれます。仮に、OPEC 総会において減産が決定されなかったとしても、現在の OPEC 加盟各国の原油生産は完全操業に近く、これ以上の大幅な増産が見込み難いことから、更なる大幅下落は考えにくく、原油先物市場は底堅い動きで推移するものと予想しています。

金先物市場は、トランプ次期米国大統領の動静によって、米国の追加利上げが意識され、上値が抑えられる展開が見込まれます。米国では 12 月の追加利上げがほぼ確実視され、上値が抑えられる相場展開になるものと思われます。来年以降については、依然として世界経済に不透明感が残るため、米国の利上げスピードも緩やかなものに留まると想定され、金価格の一段の下落は考えにくく、底堅い展開を予想します。

ブラジルレアル(対米ドルレート)は、事前の予想に反してトランプ氏が次期米国大統領に就任することになったため、今後の米国の経済・外交政策等に不確実性が高まり、不安定な相場展開が見込まれます。しかしながらブラジルのインフレ率が落ち着きつつあること、経常収支が改善基調にあること、経済成長率予想が上方修正されていることなどが、ブラジルレアルにとってプラス要因となるものと考えられます。また、ブラジル中央銀行がブラジルレアル安抑制のため、米ドル売りレアル買いの為替介入を行うことが下支えとなることから、ブラジルレアルは底堅い動きになるものと予想しています。

トルコリラ(対米ドルレート)は、トルコの国内政治リスクや、国内や中東でのテロ発生リスクに対する懸念などから、当面不安定な相場展開が想定されます。しかしながら、高金利通貨であること、同国のインフレ率が低下していること、経常赤字が高水準ながらも縮小の兆しが出てきていることなどから、トルコリラも底堅い動きになると予想しています。

以上

当資料はT & Dアセットマネジメントが投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

## ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

### ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクについて

「価格変動リスク」「為替変動リスク」「カバードコール戦略に伴うリスク」「スワップ取引に伴うリスク」

- ・ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

### 分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 <b>4.32% (税抜 4.0%)</b> を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.5%</b> の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	<p>ファンド: 毎日、ファンドの純資産総額に年<b>1.3824% (税抜1.28%)</b> の率を乗じて得た額とします。</p> <p>投資対象とする外国投資信託: 外国投資信託の純資産総額に対し、年0.5175%程度</p> <p><b>実質的な負担: 年1.8999% (税抜1.7975%) 程度</b></p> <p>ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。</p>
その他の 費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>信託財産にかかる監査費用および当該監査費用にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。</li> <li>証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に要する費用等は、信託財産が負担します。</li> </ul> <p>また、組入外国投資信託においても、証券取引・オプション取引等に伴う手数料、その他ファンドの運営に必要な各種費用等がかかります。</p> <p>これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>

\* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

\* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

## 販売会社の名称等

販売会社	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品 取引業者 近畿財務局長(金商) 第15号				
エース証券株式会社	金融商品 取引業者 近畿財務局長(金商) 第6号				
株式会社SBI証券	金融商品 取引業者 関東財務局長(金商) 第44号				
東武証券株式会社	金融商品 取引業者 関東財務局長(金商) 第120号				
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品 取引業者 中国財務局長(金商) 第20号				
マネックス証券株式会社	金融商品 取引業者 関東財務局長(金商) 第165号				
丸八証券株式会社	金融商品 取引業者 東海財務局長(金商) 第20号				

加入協会に 印を記載しています。

岩井コスモ証券株式会社は、ブラジルリアルコース、トルコリラコース、マネーブルコースのお申込は受付けておりません。

株式会社SBI証券、東武証券株式会社およびひろぎんウツミ屋証券株式会社は、マネーブルコースのお申込は受付けておりません。

岩井コスモ証券株式会社、ひろぎんウツミ屋証券株式会社は、ネット取引でのお取扱いとなります。